

先端技術の警察活動への戦略的導入に向けた 予算確保と協働事業展開について

【担当省庁】警察庁

京都府では、犯罪の予防、捜査、交通事故防止対策、災害対策等の警察活動への先端技術の戦略的導入による業務の高度化等の実現を目指して未来警察創造プロジェクトを立ち上げ、企業、大学・研究機関、自治体等と連携した取組を進めている。

国において推進している先端技術の警察活動への導入に向けた実証実験事業は、京都府の取組と親和性が高いことから、同事業に対し十分な予算を確保した上で、京都府との協働事業として展開していただきたい。

【現状・課題等】

■先端技術を活用した新たな治安対策に係る構想の樹立及び協働実証実験

平成30年3月、警察本部に「未来警察創造プロジェクト班」を設置。府民の安全・安心、警察業務の高度化等の着眼点から部門横断的な検討を重ね、先端技術を活用した新たな治安対策をテーマとした構想を平成31年4月に樹立。構想を樹立して以降、警察庁と「画像解析による車種・車名特定」について情報共有を行いつつ調査・研究を進めている。

■産学公連携による取組の推進

データ利活用促進のため、企業、大学・研究機関、行政等が参画する「京都ビッグデータ活用プラットフォーム」に、平成31年3月、最先端技術を活用した府民の安全・安心の確保をテーマとする「スマートセキュリティ研究会」を発足し、同研究会を基軸とした産学公連携による取組を推進

■協働事業の発展・拡大による治安対策の実現

先端技術を活用した新たな治安対策をテーマとした各構想について、必要予算を確保の上、京都府と警察庁の協働事業として推進していくことが治安対策上、効果的・効率的

京都府 の担当課	警察本部 警務課治安総合対策室(075-451-9111)
-------------	-------------------------------

【国の事業等】

■概算要求〔警察庁〕

- ▶ 警察通信機器整備費 98 百万円（令和2年度予算 78 百万円）

【京都府の取組】

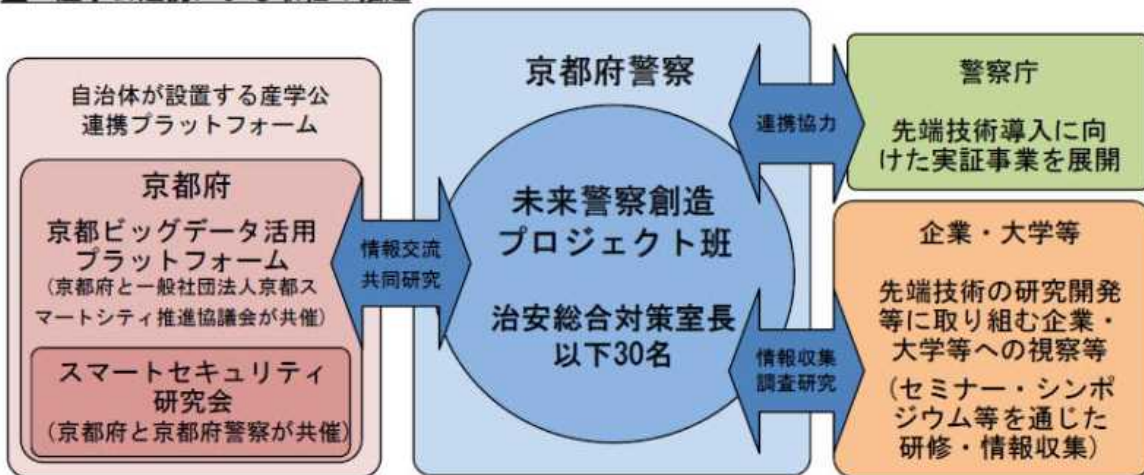
■未来警察創造プロジェクトの概要

未来警察創造プロジェクト

△ 先端技術の警察業務への導入に向けた調査・研究



△ 産学公連携による取組の推進



■「先端技術を活用した新たな治安対策」をテーマとした構想の概要

- ・ 画像解析等を活用した防犯対策
- ・ 画像解析による車種・車名特定
- ・ 音声解析技術による犯人等の特定
- ・ 災害発生時における被災者予測・被害情報の集約等
- ・ GIS交通事故分析システムの精度向上
- ・ 通信指令業務の段階的・高度化



これまでの協力関係をさらに前進させ、親和性の高い施策を警察庁との協働事業として推進